

## 平成26年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

開講方式	Aタイプ (研究科 開講型)		研究科名	文学研究科		カテゴリー	人文科学総合科目 群		横断区分	文理横断型
授業科目名 (英訳)	倫理学特殊講義(応用倫理学入門)(Introduction to Applied Ethics)			講義担当者 所属・氏名	文学研究科 教授 水谷 雅彦 文学研究科 准教授 児玉 聡			開講場所	吉田キャンパス にて開講予定	
配当学年	修士 博士後期 専門職	単位数	2単位	開講期	後期	曜時 限	木5限 (16:30-18:00)	授業形態	講義・演習	
〔授業の概要・目的〕										
<p>「応用倫理学」は、さまざまな実践問題の領域における倫理的思考の総称である。一般にもよく知られた生命倫理、環境倫理のほか、情報倫理、工学倫理など、応用倫理学で扱われてきた領域は多岐にわたる。これらさまざまな領域の倫理問題は、領域に特有のものもあれば、複数の領域に共通して発生する問題もある。本講義では、さまざまな応用倫理領域について横断的に学ぶことで、そうした特有性と共通性について見通しを得ることをめざす。</p> <p>【研究科横断型教育の概要・目的】          上述したように応用倫理学は多くの専門分野の共通基盤となりうる授業科目であり、本科目の履修を通じて広い視野と新しい学問領域を創造する能力をもつ大学院生を養成することが目指されている。また、他研究科の学生の履修・聴講に配慮した形で授業を運営する予定である。</p>										
〔授業計画と内容〕										
<p>生命倫理、環境倫理、情報倫理、工学倫理、企業倫理のテーマについて講義・演習を行う予定である。リーディングリストは開講二週間前を目処に受講希望者に知らせる。受講者は、あらかじめリーディングリストで指定された論文や著書を読んだ上で授業に出席することが求められる。</p>										
〔履修要件〕										
特になし										
〔成績評価の方法・基準〕										
発言・意見表明等の授業中のパフォーマンス(評価の3分の1)、出席回数(同、3分の1)、レポート成績(3分の1)。										
〔教科書〕										
なし										
〔参考書等〕										
水谷雅彦編『岩波 応用倫理学講義(3)情報』(岩波書店)、加藤尚武『現代倫理学入門』(講談社学術文庫)、児玉聡・なつたか『マンガで学ぶ生命倫理』(化学同人)										
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕										
<p>文理を問わずさまざまなバックグラウンドを持った大学院生の参加を期待する。          ※オフィスアワー実施の有無は、KULASIS で確認してください。</p>										